

1. 経営発達支援事業

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a	実績(4月～1月)b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
I 地域の経済動向調査	①「地域経済動向調査」の実施	○森町内の経済活性化を目指すため国の分析システムを活用した地域の経済動向分析を行い、年1回公表する。	1回	0回	E	日々現場で得られる1次情報とRESAS等から得られる2次情報を合わせた経済動向の分析が望まれる。	①「地域経済動向調査」の実施 ○4月から1月までの間、未実施。	・管内小規模事業者の景気の動向を行い現状把握に務めると共に、県商工会連合会が集計した静岡県下の景況DIについて、森町商工会ホームページに掲載し周知した。 ・一方、「地域経済動向調査」については未実施のため年度末までに実施する。	・今後も継続して現況の把握及び今後に向けての課題の抽出を行い、次の各種施策の提案につなげていく。 ・「地域経済動向調査」の実施を完了させる。
	②「小規模企業景気動向調査」の実施	○対象:5業種(製造業、建設業、小売・卸業、サービス業) ○調査方法:毎月巡回 ○調査内容:対前年同月比「売上額」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、「業界の業況」の5項目について調査し、整理・分析等を行う。	4回	3回	C	予定通り実施されており目標は達成する見込み。	②「小規模企業景気動向調査」 ○調査結果の報告 ・県商工会連合会で県内各商工会から報告した結果をまとめた月単位での「小規模企業景気動向調査報告書」を発行 ・森町商工会会員への周知(商工会HP) ・その後の経営計画書作成等支援への活用		
II 需要動向調査	①「新商品等開発」調査	○新商品や新サービスの開発や既存商品の磨き上げにつなげるため地元の特産品を活用した「森町ブランド品」につなげる。	10社	5社	C	静岡県商工会連合会が実施する特産品等販路開拓事業なども活用し、そこで得られた情報の活用が期待される。	○目標には未達であるが、販売促進応援事業を活用し、4月から1月までの間、町外の催事等に出席した以下の5社が次の展開に生かすため各店で市場調査を実施した。 鈴木長十商店(遠鉄百貨店・りんご館) にんたま(掛川自動車学校周年際:卵詰合せ) 原崎養蜂(女性部全国大会:自家製蜂蜜) 松浦製茶(山梨県道の駅:深蒸し茶) 石田茶店(西武百貨店池袋店:森のお茶)	・地元の特産品等の来場者を対象に市場動向調査を行う予定だったが、各店のターゲットが異なる等の事情を鑑み、催事等出席した先で直接ユーザーの声を聞く機会とした。出席した催事は各店の狙いにマッチした催事ということもあり、いずれも上々の評価を得たようだ。中にはその後のリピータにつながったところもあり商品開発、あるいは商品の磨き上げにつながる成果を得た。	・今後も継続して実施していく。
III 経営状況の分析	①対象者の掘り起こし	○経営状況の分析に必要な小規模事業者を抽出。	40件	小規模事業者 469件	A	持続化補助金の告知先だけでなく巡回先や来会者の中から分析が必要な事業者の抽出が求められる。	①対象者の掘り起こし 小規模事業者持続化補助金をはじめとした各種補助金制度について、会員事業所469件を対象にチラシ等で広報、また巡回にて周知することで案件の掘り起こしにつながった。	・課題解決に向けての経営計画書作成に導いた。	・今後も継続して実施していく。
	②経営状況の分析	○定量分析(税務)や定性分析(SWOT)等による分析。	30件	小規模事業者 35件	A	分析事業者数はすでに目標を上回っている。	②経営状況の分析 補助金申請希望者14件(経営力向上3件、持続化補助金11件)および経営革新計画申請希望者6件に現状分析を実施した。また、計画実施(策定)後のフォローアップ調査等を通し、事業計画実施後の様子について分析を行った。		
IV 事業計画策定支援	①事業計画の策定支援	○既存事業者を対象に事業計画の策定を支援する。	①集合形式 ・DXセミナー 2回 ・事業計画策定セミナー 1回	①集合形式 ・DXセミナー 1回 ・事業計画策定セミナー 0回	D	セミナーだけで終わるのではなく、それを契機として事業計画策定につなげることがポイントになる。	○DXセミナー 開催日:1月15日(月)14時から16時 会場:森町商工会館 講師:中小企業診断士 飯塚 淳氏 出席者:14名	・「DX基礎講座」として1回開催した。ITの導入が遅れている事業者及びSNSの活用がみられる事業者と区分けすることなく今回は「基礎編」として実施した。受講者数の低調は反省であるが、受講者アンケートから概ね8割が内容の理解ができたと回答したことから初めの一歩として継続性の必要がある。	・次年度以降は、計画性を持ち実施していく。
			②事業計画策定事業者数 25社	②事業計画策定事業者数 20社	B	1月時点で目標は達成されていないが経営革新計画6件の策定支援は高く評価できる。	①静岡県経営力向上事業費補助金 第1回～第3回:3件 ③小規模事業者持続化補助金【第12回～第14回】 【一般型】:7件 【資金引上げ枠】:2件 【創業枠】:2件 ③経営革新計画策定支援:6件 合同会社にんたま、旭自動車機、地盤計測(株)、(株)ALIVE WORKS、榎石川園、術館精機	・「経営状況の分析」を行った35件のうち14件の小規模事業者事業者の補助金申請に係る計画策定および申請にこぎつけた。 ・令和2年度および3年度の経営力向上補助金採択者5名に対し経営革新計画の策定支援を行い、いずれも県の承認を得た。	・今後も継続して実施していく。
	②創業計画書の策定支援	●創業を目指す者、創業間もない者を対象に事業計画の策定を支援する。	創業計画策定数 15人	創業計画策定数 21人	A	既に目標を上回っており、個別相談会への参加者も含めた継続的な支援が望まれる。	●創業塾 ・中遠地域において、創業を検討している者や創業間もない者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援を図ることができた。 ・受講者にとっても、創業に必要な基礎知識の取得とともに、必要なビジネスプランの作成方法を具体的に学べる機会として、9日間という密度の高い講座を通し起業・創業がより現実化したものと思われる。 ・今回の受講者のうち森町から1名受講した。(創業予定者1名) ●個別相談会 ・単独開催の個別相談会では、3名の相談者があった。 ○創業者向け補助金制度である地域創生企業支援金申請希望者2名に対し、創業(事業)計画書策定支援を行った。	・今後も3商工会連携による講座の開催や商工会単独による相談を継続していく。	

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a	実績(4月~1月)b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
V 事業計画策定後の支援	③事業計画策定後の支援	○既存事業者向けフォローアップ	25件	小規模事業者 延べ26件	A	主に補助金の採択事業者に対して実施されているが、非採択者に対するフォローアップも重要になる。	○補助金の採択を受けた以下の者を対象に実施。 ①経営力向上事業費補助金(2件) 合同会社にんたま、カディスフィルム ②小規模事業者持続化補助金(18件) 宮田治療院、にしおか自動車、中島屋、旭自動車、榎つちやせいか、café flat 榎木こころ工房、朝日製粉、榎一宮、榎石川園、榎太田茶店、(同)にんたま、かねとよ、翠清(同)、ゲストハウス森と町、カワムラファーマシー、(株)エムディー、雅美工芸 ③経営革新計画承認企業(6件) 安間製着、村澤建築、榎石川園、朝日製粉、榎7福神、(株)昭技研	・補助金採択者に対し、既に事業を完了した者に関して事業完了に向け個別の対応によりフォロー及び報告書策定支援を実施した。 ・経営革新計画の承認を受け、事業期間中である6件に対しフォローアップ調査を行うなど対応した。 ・いずれの事業者も売上げの増加が見られたものの、物価高騰等の影響もあり利益率3%以上の達成は難しい状況も伺えた。	・今後も継続してフォローアップに務めていく。
		○創業を目指す者、創業間もない者向けフォローアップ	15人	延べ7人	D	創業者こそ伴走型支援が重要になる。	○3商工会合同の創業塾を受講者：1名、過去の受講者：2名 ○創業個別相談会来場者：2名 ○地域創生企業支援金採択者 2名	・創業塾を受講した3名につき、個別相談会を開催。その後の動向および現在の課題に対し、専門家による指導を実施。 ・地域創生企業支援金採択者について補助事業計画の実施につき、伴走型支援を実施した。	・今後も継続した支援を講じていく。
VI に新たな需要事業拓	①販売機会情報提供と出店支援	○販路開拓支援のための県内外での展示会や販売会などの情報提供、出展支援	40件	述べ34件	B	事業者にとって販路開拓が大きなテーマであり継続した支援が望まれる。	○県連販路開拓支援事業 4件 (石田茶店、松浦製茶、にんたま、原崎養蜂) ○県連チャレンジショップ出品 3件 (中島屋、花ぎょうざ、レッカーランドフカワ) ○販売促進応援事業 5件 鈴木長十商店、にんたま、原崎養蜂、松浦製茶、石田茶店 ○県連逸品サイト商品掲載 11件 (田米陶房、花ぎょうざ、中島屋、菓匠あさおか、おさだ製茶、八幡屋茶舗、松浦製茶、石田茶店、レッカーランドフカワ、にんたま、原崎養蜂)	・県連販路開拓支援事業を活用し販路開拓への支援を講じると共に静岡伊勢丹のチャレンジショップ(県連運営)に3件が出品した。また、県内外で開催される催事等へ出展した事業者の係る経費の一部助成を実施。	・今後も県内外で開催される催事等に出店し販路開拓等に資する活動を行う会員企業を支援していく。

項目	実施事業	事業内容	本年度目標a	実績(4月～1月)b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価	今後の計画等
2. 地域の活性化に資する取り組み									
I 地域経済活性化に資する取り組み	①地域経済の活性化に資する取り組み	①森町創業者支援会議への出席	年2回	年1回	C	本年度中に達成見込み。	【第1回】 ○開催日 令和5年10月23日(月) ○会場 森町町民生活センター ○出席者 静岡銀行、浜松磐田信用金庫、遠州中央農協、信用保証協会 ○内容 森町商工会が実施した ・ワンストップ相談 ・創業講座 ほか意見交換 【第2回】(予定) ○開催日 令和6年3月中に開催予定	○令和5年3月から10月まで森町商工会が取り組んだ創業支援4名を報告。(鈴木、古木、山田、ジョゼ) ○「特定創業支援」の認定に至った者2名を報告した。(高木、山田)	○今後も継続して、創業を希望する者を輩出するため連携事業である「創業塾」のほか、創業個別相談会、窓口相談など間口を広げ進めていく。
		②「遠州森町次郎柿ワイン」ブランド化事業	会議の開催2回	会議の開催2回	A	継続した開催が望まれる。	○製造販売24年を迎えた令和5年度。町内12の酒販店で約1,600本を12月22日より販売。今回の製造本数は前年の約43%減であった。(令和4年年度：2800本)	○原材料費等の高騰につき、令和5年度産より価格の改定を行った。またそれと合わせる形でワイン箱のデザインを一新、販売力の強化を行った。	

3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取り組み

II 経営指導員等の資質向上等に関する事	① 森町商工会が小規模事業者の期待に応える経営発達支援事業を行うため職員教育研修を実施する。	○職員スキルアップ研修(資質向上)	回数：2回	回数：2回	A	今後も継続することで職員のスキルアップが期待できる。	●1回目 ・実施日：令和5年10月24日(火) 13時00分から15時00分 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員5名(平田、横田、大澤、長谷川、平野) ・テーマ「小規模事業者のDX化支援について」 ●2回目 ・実施日：令和6年2月26日(月) 13時00分から15時00分 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員6名(平田、横田、大澤、長谷川、平野) ・テーマ「RESASの活用方法」	・北川診断士を講師に招き昨今活用等が進むDXをテーマに学習した。 ・主な内容は、1回目がチャットGPTの特徴と期待される効果等を学習。2回目はRESAS(地域経済分析システム)の活用方法について学習した。	・今後も職員のスキルアップを図るため継続して実施していく。
		○他の支援機関との連携を通じた情報交換	—	—	—	他の支援機関との情報交換も適宜実施されることが望ましい。	①中遠地区商工会経営指導員部会 1回 ②日本政策金融公庫浜松支援会議 1回 ③森町創業者支援会議 1回 ④静岡県事業承継・引継ぎ支援センター会議 2回	・各会議で、他商工会の経営指導員及び町内金融機関等の支援機関等と情報交換に務めた。 ・いずれもリアル開催であったため深みのある情報交換ができた。	・今後も積極的に出席し、情報交換を通して当会に必要なものは取り入れていくようにする。